202２年2月第3週【2/1８発行】　　高校生教材 ロシアとウクライナの情勢　　模解と指導の手引き

（１）Wordファイルの教材では、不必要と思われる問題のカット（削除）、本文や設問のアレンジ、差し替え、加筆修正は自由です。先生方が授業で使いやすいように、お好きなように加工して下さい。

（２）「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい（逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい）」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。私の判断で、英語が良いと思った設問は英語に、日本語が良いと思った設問は日本語にしています。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。

（３）毎回、スペリングや文法ミスがないか、細心の注意を払っていますが、間違いに気付いたら、後からホームページに訂正版を出しています。申し訳ありません。もしスペルミスや文法ミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。

（４）全ての教材に、「この英文を暗唱しよう！」というページがあります。毎回、重要な文法や使える表現を含むキーセンテンス３～５文を選んでいます。これは「夢タン」などの参考書の著者として著名な木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道！」と教えていただいたことにより、8月から始めました。文を暗唱してから本文を読んでも、全文を読んでから仕上げに英文暗唱しても、どちらでも良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

教材執筆にあたって参考にした記事

<https://www.cnn.com/.../biden-putin-call-ukraine/index.html>

<https://www.bbc.com/news/world-europe-56720589>

<https://www.reuters.com/world/europe/us-says-russia-masses-more-troops-near-ukraine-invasion-could-come-any-time-2022-02-11/>

<https://www.newyorker.com/news/news-desk/why-is-russia-threatening-to-invade-ukraine>

<https://www.iri.org/resources/iri-ukraine-poll-shows-support-for-eu-nato-membership-concerns-over-economy-and-vaccines-for-covid-19/>

<https://www.aljazeera.com/news/2022/2/12/putin-to-biden-us-failed-to-address-russias-security-concerns>

<https://www.npr.org/2022/02/09/1079655020/ukrainians-in-and-near-crimea-have-seen-up-close-what-happens-when-russia-invade>

<https://theconversation.com/5-things-to-know-about-why-russia-might-invade-ukraine-and-why-the-us-is-involved-175371>

１ページ　模範解答

invade(侵略する)　　invasion(侵略)

Q1 (解答例)Russia has amassed more than 100,000 troops near Ukraine’s border in recent weeks. / More than 100,000 Russian troops have stayed around the border between Russia and Ukraine.

Q2 (解答例)Countries that are formally cooperating with the U.S. for military or other purposes,

such as Australia, New Zealand, Britain, Japan, Latvia, Norway and the Netherlands/

Q3 to invade Ukraine

Q4 “Don’t spread panic.”

Q5 Biden said the U.S. and its allies will respond decisively and impose swift and severe consequences on Russia.

Q6 (解答例)First, Biden means the U.S. and its allies will impose severe economic sanctions on Russia.

Secondly, the NATO troops will attack the Russian troops to stop the invasion.

２ページ 模範解答

Q7

●the Soviet bloc countries which is represented by the Warsaw Pact.

　（ワルシャワ条約機構に代表されるソビエト側のブロック国）

●the Western powers which is represented by the NATO.

　（NATOに代表される西側の勢力）　　※NATOの英語の読み方は「ナトー」でなく「ネイトー」です

★Japan belonged to the Western powers.

Q8 Most of the former Soviet socialist republics joined NATO.

　　元ソ連だった社会主義共和国のほとんど（ウクライナ以外）がNATOに加盟した。

Q9　Russia doesn’t want Ukraine to join NATO.

Q10 Russia doesn’t want NATO to expand its power eastward and continue its military activities in Eastern Europe.

Q11 ウクライナはロシアにとっての地政学的な鍵となる国である＝地理的には、ウクライナはヨーロッパとロシアの間に位置しているが、元ソ連だった共和国として、社会的にも文化的にもロシアと深いつながりがある。

その証拠に、ウクライナではロシア語が広く話されている。（※注：ウクライナで最もよく話されている言語は、ウクライナ語とロシア語の２つである。下の動画参照。）

Q12　国民の意見は、親ロシア派と親EU派に割れている。ざっくりいうと、ウクライナ西部の人々は西ヨーロッパとの統合を支持しており、東側の人々はロシアとの強い関係を望んでいる。

（世論調査によると、54%がNATO、58%がEUに加盟したがっており、ロシア・ベラルーシ・カザフスタンの関税同盟に加盟したいのは21%に過ぎない、という説もある）

3ページ　模範解答

Q13　In 2014.

Q14 Russia annexed Crimean peninsula.

Q15 140,000 were.

Q16 G8から追い出された。

※その結果、今でも世界首脳会議（サミット）などを開催しているグループは7カ国なので、G7と呼ばれている。（G7には日本も入っている）

Q17 They are the ports that don’t freeze in winter but are available year-round.

Q18 Because Crimean peninsula can function as warm-water ports.

★オマケ：G7 consists of [Canada](https://en.wikipedia.org/wiki/Canada), [France](https://en.wikipedia.org/wiki/France), [Germany](https://en.wikipedia.org/wiki/Germany), [Italy](https://en.wikipedia.org/wiki/Italy), [Japan](https://en.wikipedia.org/wiki/Japan), the [United Kingdom](https://en.wikipedia.org/wiki/United_Kingdom), and the [United States](https://en.wikipedia.org/wiki/United_States).

指導の手引

★「ロシア軍はウクライナ国境から撤退を始めている」という報道も聞きます。世界情勢が刻々と変わっているので、このプリントの情報も古くなるかもしれません。

★とはいえ、ロシアがクリミア半島を併合するまでは、毎年の首脳会議にロシアも来ていました。今、私達が「G7」と呼んでいるグループは、昔は「G8」だったのです。

★また、ロシアは国土は大きいものの、寒い国なので、凍らない港を必要としている、というのも覚えておきましょう。

★参考動画の中田敦彦さんも言っていましたが、これは「遠い国で起こっている他人事」ではありません。日本にも同様のことが起こるかもしれません。（ある日、どこかの大国に侵略されるかもしれない、ということ。）

私達もしっかりニュースを見ておきましょう。